

長唄
静と知盛

能や、歌舞伎十八番の中の一つで知られる「船弁慶」を集約して舞踊に仕立てられたとも言われています。
前シテでは、義経と別れる静御前の悲しい心を舞い、後シテでは壇の浦で破れた平家の武将平知盛の亡霊となって義経へのうらみ心をと二役を一人で演じ分ける様になっております。柔と剛を踊り分ける難しさがこの踊りの眼目とも言えます。

幕間

に

チケットの番号で遊びませんか。
休憩の時間をつかってチケットの番号を抽選して当たった方に舞踊に関するクイズに答えていただきます。
もちろん賞品が有ります。
お楽しみに!!

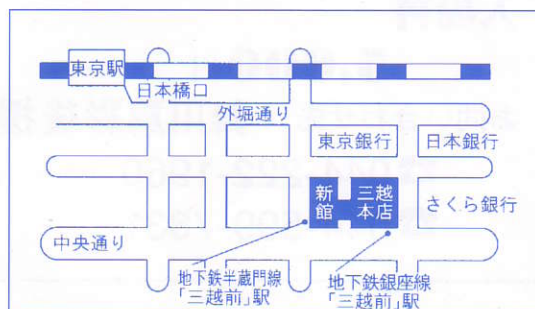


長唄
京鹿子娘道成寺

日本舞踊と言えば娘道成寺とかえってくる程良く知られた演目です。
白拍子花子が鐘への執着を心の底にひめながら乱拍子・中啓の踊り・手踊り(鞠の段)・振り出し笠の踊り・手拭の踊り・羯鼓の踊り・鈴太鼓の踊り・鐘入りと女心のいろいろを踊り分け、それにあわせて衣装の変化等見所のある内容になっています。

ひとり言

活力というかエネルギーと称されるものは人間日々の生活の中で知らず知らずのうちに使い分けているように思われる。たとえば疲れたら少し休んでエネルギーを充電しましょうとか、あとひとふんばりしてこの仕事にけりつけてしまおうと残りのエネルギーを出してきたり個々に調整しているようです。想うに踊りにとってもその調整が大変重要に感じられる所です。静と知盛のように二態を踊り分ける場合どちらにどのくらいのエネルギーを配分するかによって出来具合がちがってきます。大曲ゆえに十分にエネルギーのバランスをとっておかないと後半バテバテになどという悲惨な事になりかねません。さて、この度のエネルギーの配分はいかが相成りますか……？



三越劇場のご案内

- 京浜急行「日本橋駅」下車
- 地下鉄銀座線「三越前駅」下車
- 地下鉄半蔵門線「三越前駅」下車
- JR「新日本橋駅」徒歩3分
- JR「東京駅」日本橋口徒歩8分
- 首都高速呉服橋ICまたは江戸橋ICから5分

〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1 日本橋三越本店6階 電話03-3274-8675



MITSUKOSHI

三越劇場

〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店6階 電話/03-3274-8675